

| | | | |
|---------------------------------|---|---------|---------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 教育心理学 (2 単位) | 3. 科目番号 | JECS2404 JNCS2404 |
| 2. 授業担当教員 | 成本 忠正 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、演習、グループワーク | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | 特になし | | |
| 7. 講義概要 | 本講義では、人間の発達過程および特徴についての心理学の基礎理論を学ぶとともに、発達段階をふまえての主体的な学習を支える指導の在り方やクラス集団形成について学ぶ。また、保育や教育現場で生じるさまざまな現象に対し、その背景を正しく把握し、有効な対処法を見つけ出す力を身につけることを目的に講義を行う。 | | |
| 8. 学習目標 | 1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達および学習の過程について理解し、説明することができる 2. 発達段階の心理的特性に基づき、主体的な学びを促す指導への応用する視点を持つことができる | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題 | 1. 2~3の学習テーマごとに確認テスト (30分程度) を実施する。 2. 学習内容に関する論述課題を2回実施する。 3. 授業で学習した教育心理学研究の知見について詳細にリサーチし、エビデンスを示しながらそれが教育現場でどのように貢献しているのかについてレポートを作成する。 | | |
| 10. 教科書・参考書・ 教材 | 【教科書】 1. 工藤俊郎・高井直美・上田恵津子・菅原康二『基礎から学ぶ教育心理学』八千代出版、2020。 2. 適宜、関連テーマの資料を配布する。 | | |
| 11. 成績評価の規準と 評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 子どもの発達を踏まえた教育心理学の基本的な知識について理解し、説明できるか。 2. 学んだ知識に基づいて子どもの行動を理解し、教育や保育の現場で応用する力がついたか。 ○評定の方法 1 授業への参加態度 (グループワーク等) 総合点の 30% 2 試験 (小テストまたは期末試験) 総合点の 40% 3 課題 (レポート等) 総合点の 30% | | |
| 12. 受講生への メッセージ | 1. 教育心理の考え方、視点を修得すると、人生のあらゆる場面においても応用可能と考えられます。それを修得するため、まず他の学習者との相互学習を通して、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 2. 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初日の授業に出席してください。 3. 受講生の理解度や要望によりシラバス内容を調整する場合があります。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内に周知する | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第 1 回 | 1. ガイダンス 2. 教育心理学とは何か? | 事前学習 | シラバスを確認し、授業準備をする。 |
| | | 事後学習 | 教育心理学の意義について理解する。 |
| 第 2 回 | 発達の基礎概念について理解する | 事前学習 | 【発達の基礎概念】を読み、人の発達特徴を理解する。 |
| | | 事後学習 | 発達に影響を与える要因について復習する。 |
| 第 3 回 | 発達段階モデルについて理解する | 事前学習 | 【発達段階理論】を読み、各モデルの特徴を理解する。 |
| | | 事後学習 | 認知・社会性・道徳モデルの特徴について復習する。 |
| 第 4 回 | 発達研究の知見を学習する | 事前学習 | 【一般的発達区分】を読み、研究成果を理解する。 |
| | | 事後学習 | 知性・社会性に関する知見について復習する。 |
| 第 5 回 | 学習理論 (古典的条件づけ) を理解する | 事前学習 | 【学習の理論】を読み、学習のメカニズムを理解する。 |
| | | 事後学習 | 教育現場における応用について復習する。 |
| 第 6 回 | 学習理論 (オペラント条件づけ) を理解する | 事前学習 | 【学習の理論】を読み、学習のメカニズムを理解する。 |
| | | 事後学習 | 教育現場における応用について復習する。 |
| 第 7 回 | 達成動機について理解する | 事前学習 | 【動機づけ】を読み、社会的動機づけを理解する。 |
| | | 事後学習 | 社会的動機づけの種類と特性を復習する。 |
| 第 8 回 | 学習意欲について理解する | 事前学習 | 【学習意欲】を読み、意欲に影響する要因を理解する。 |
| | | 事後学習 | 教育場面における学習欲求について復習する。 |
| 第 9 回 | 論述課題の実施 ① | 事前学習 | 課題への準備をしておくこと。 |
| 第 10 回 | 教科学習について理解する | 事後学習 | これまでの授業内容を振り返り、復習する。 |
| | | 事前学習 | 【学習の形態】を読み、その種類を理解する。 |
| 第 11 回 | 教育評価について理解する | 事後学習 | 指導・学習の効果的な方法について復習する。 |
| | | 事前学習 | 【評価】を読み、各評価方法の特徴を理解する。 |
| 第 12 回 | 社会との関係について理解する | 事後学習 | 各評価方法の種類および長所・短所について復習する。 |
| | | 事前学習 | 【資料】を読み、集団について理解する。 |
| 第 13 回 | 学校不適応について理解する | 事後学習 | 集団の役割について復習する。 |
| | | 事前学習 | 【不適応行動】を読み、その原因を理解する。 |
| 第 14 回 | 発達障害について理解する | 事後学習 | 主に心的・器質的要因について復習する。 |
| | | 事前学習 | 【資料】を読み、発達障害の特徴を理解する。 |
| 第 15 回 | 論述課題の実施 ② | 事後学習 | 特に、LD・ADHD・ASD の特徴を復習する。 |
| | | 事前学習 | 課題への準備をしておくこと。 |
| | | 事後学習 | これまでの授業内容を振り返り、復習する。 |